

所属・資格 社会福祉学科・助手

申請者氏名 中野 航綺

研究課題	地域福祉政策の成立・発展過程における「アイデア」の分析
研究目的 および 研究概要	<p>本研究は、2000年代以降における地域福祉政策の「主流化」とされる現象について、その形成から進展に至るプロセスを社会学的観点から分析するものである。本研究では、福祉国家研究において精緻化された「アイデア」概念を用いた言説分析の手法を取り入れ、政策の構造的変容を明らかにする。</p> <p>従来の研究は、地域福祉政策を国内における「標準的」な政策の一環として位置づけ、その学術的および制度的進化を検討してきた。これに対し、本研究は、地域福祉政策自体が既存の社会福祉政策における「パラダイム転換」であるとする立場を採る。この視点のもと、社会福祉政策の諸領域が「地域福祉」という共通のアイデアのもとで結びつき、正当化されるプロセスを解明する。</p>
報告 の 結果	<p>今年度の研究では、まず学術的議論の検討を行った。文献レビューを通じて、「政策化」概念の類型化を行った。これは地域福祉政策の形成過程における「アイデア」の影響を実証的に示すものであり、地域福祉の理論的枠組みを再検討する契機となるものである。特に、「政策化」概念が地域福祉の言説において果たす役割を解明することは、社会福祉政策のパラダイム転換を理解する上で重要な視点を提供することが確認された。</p> <p>同時に、本研究では「政策化」概念そのものの理論的基盤に関する課題も指摘された。すなわち、既存の社会福祉政策研究との関連性や理論的貢献が十分に整理されないまま「政策化」概念が導入されている点である。このように概念的な曖昧さが残る一方で、「政策化」概念のもとでさまざまな政策・制度が展開されている現状を踏まえ、その実態を検討する必要性が改めて確認された。</p> <p>そこで、第2の分析として、生活困窮者自立支援制度をめぐる政策形成過程を検討した。本分析では、貧困問題への対処が地域福祉の課題として「政策化」されていく過程において、政策アイデアがいかに作用したのかを明らかにした。</p>
概要 研究 の 考察 ・ 反省	<p>本研究では、地域福祉政策の「主流化」に関する学術的議論を検討し、特に「政策化」概念に焦点を当てた分析を行った。その結果、「政策化」概念が多様な意味を含みつつも、地域福祉政策の形成過程において重要な役割を果たしていることが明らかとなった。さらに、生活困窮者自立支援制度を事例として、政策アイデアが地域福祉の枠組みの中でいかに位置づけられ、政策形成に影響を与えたのかを実証的に検討した。</p> <p>他方で、本研究には今後の課題も残されている。まず、「政策化」概念をめぐる文献レビューに関しては、提示した類型化があくまで仮説的なものであり、その妥当性を数量的な手法を用いて検証する必要がある。また、本研究は主に学術論文を中心とした分析を行ったが、それらの議論が実際の政策形成過程においてどのような影響を及ぼしたのかについては十分に検討できていない。すなわち、学術的議論と政策実践がどのように相互に関係し、「政策化」が具体的な制度設計や政策決定にどのような影響を与えたのかについては、さらなる分析が求められる。</p> <p>また、事例分析に関しても課題が残る。「政策化」概念はさまざまな制度を俯瞰する中で議論されてきた概念であり。しかし本研究では、異なる政策領域において「政策化」がどのように機能し、それぞれの政策や制度の違いが「政策化」概念や政策アイデアにどのような影響を及ぼしているのかについては十分に検討できていない。この点を踏まえると、今後の研究では異なる政策領域における比較分析を行い、「政策化」概念の適用範囲とその変容について横断的に検討することが求められる。</p>

<p>研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所</p> <p>研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者</p>	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表（口頭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会政策学会第149回(2024年度秋季)大会「2010年代後半の社会福祉政策とその政策過程—「地域福祉の『政策化』」の文脈からの再検討」2024年10月19日（大分） ● 第22回福祉社会学会「地域福祉の『政策化』と福祉社会学研究—メタガバナンスの社会史を捉えるための試論—」2024年6月30日（東京） ● 社会政策学会第148回(2024年度春季)大会「地域福祉計画・地域福祉支援計画の役割と課題：コメント」2024年5月19日（東京） <p>研究発表（ポスター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地域福祉研究の動向についての文献レビュー—主流化・政策化概念の展開に注目して—」第3回文理研究交流アワードプログラム 2024年12月12日（東京） <p>研究成果物</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地域福祉研究における『政策化』概念の検証：文献レビューを通じた類型化」『地域福祉研究』公益財団法人日本生命済生会, 13号（通算 No. 53）, 2025年3月31日 ● 中野航綺, 「行政計画策定過程における大学と地域の連携に関する考察：地域福祉計画における大学生・大学教員の役割を中心に」『大学地域連携学研究』大学地域連携学会, 4号, 128-137頁, 2025年3月20日
--	--